BEN STYLE

第７１号
ＢｅｎＨｏｕｓｅ
編集　尾上大輔
姫路市南条637
TEL:079-222-5500
www.benhouse.co.jp
バックNO.は上記WEBで

「正しいカフェ見つけましたよ～ん。」

見てください、クマちゃんです。これは、感激です。「ねえねえどうやって作るんですか？」さっそく尋ねました、「えぇ、ミルクを絞るときに絵を描くんですけど。」さも平然と、マスターはおっしゃいました。大ちゃんは絶対できない。これは天才だ～。人間それぞれ特技があるもんです。

ココのお店は姫路の良いとこを紹介する雑誌に載ってたんで、チエックしていました。そんな時どうしてもお茶を飲まないといけない局面（酔い覚まし）になり、行って来ました。場所は姫路バイパス市川インターより南へ１KM、おしゃれなカフェRaiLさんです。建物はガラス張りのテラス風、お空を見ながらお茶出来るのは最高です。自慢のメニューは写真のようなカフェラテと手作りスイーツだそうです。解かった解かった、それでやね。マスターさんはパティシエさんだったのです。だからさも簡単にお絵画きが出来るんだ。何事も一朝一夕にはいかないものだ。納得納得でくす。それとマスターさんってすごくいい人なんですよ。BenHouseのコマーシャルを、なんと胸ポケットに黄色いボールペン、流行ってる店の秘訣はBenHouseの幸せの黄色いボールペンにあったのか。幸せだなぁ、大ちゃんはこれが見たくて、いつぱい配ってます。皆さんも是非もらってくださいね。ビジネスうまく行きますよ。

「雑草ガーデンのビジネスモデルは？」

国道２号線（幸町-市川橋間）がすっきりしましたね。戦後４０年間拡張計画は伸展していないが、すっきりした。さてどうしたのかというと、うっとうしい街路樹（プラタナス）を切って舗道の幅を縮小し、車道を拡張しました。それにより右折待ちの渋滞が減りました。こんな簡単な事で、４０年待ちの渋滞が解消されました、ナイスアイデアです。小さなことでも社会の効率がよくなる。ちなみに今回の大きな変化は街路樹を切った事です。今までの発想では、「道には木を植えて緑化すれば住民の評価が得られる。」で、ありましたが、「今回は木を切って評価が得られた。」これは過去にはなかった事です。やりすぎると反対に振れる。小さな兆候が出てまいりました。これからは道路に街路樹を植えない選択もあるのではないでしょうか？信号が見えない、看板が見えない、毎年刈込みにお金がかかる。くすのきとケヤキは大きくなるので最悪である。少なくとも手の掛からない木を植えましょう。街路樹は沿線の住民が必要か否かを選択する。公園の管理もしかり、地域住民が管理する。湯水のように税金を使える時代は終わりました。道の植込み花壇もしかり、建設費の何倍も維持費がかかっています。ちなみに競馬場の交差点の花壇がパンジーから人工芝に変わりました。経費が掛かりすぎるんでしょうね。最近の公園の草刈を知ってますか？床を磨くように、グラインダーのような円盤で地面を根こそぎ削り土丸出しにしています。裸地にするとより一層、セイタカアワダチ草なんかがはびこります。ハコベとか蓮華、クローバー、日本本来の雑草を生やしておけば、グランドカバーになって大きな雑草が進入してきません。嫌わず雑草で公園や植込みを作ればローコストで管理できますよ。水やりだってほっとけば大丈夫。高さ１０センチで草刈をしていけば大きな雑草は枯れて小さなおとなしい雑草だけ残せば、手が掛からずグリーンが確保できますよ。京口駅に南側にそんな雑草ガーデンがありました。確か子供の頃の空き地はみなこうであったと思います。道の端には雑草を生やす、そんな時代に戻りたいものです。いま大ちゃんがやりたい事、それは雑草ガーデン構想を練っています。空き地の雑草処理、公園の雑草ガーデン化、街路樹の手入れ省力化などのビジネスモデルが成り立たないものかと模索中でございます。なにかアドバイスとかコラボのお話待ってまーす。